

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	海洋環境技術基盤支援事業		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部局庁	海事局		担当課室	船舶産業課		課長 今出秀則
会計区分	一般会計		上位政策	海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新たに開発される革新的海洋環境技術を駆使し、地球環境問題への対応を通じた世界への貢献と、我が国造船産業の競争力強化の基盤となる人材の育成に向けての産・学連携人材育成策を展開する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	造船関連事業者等と異分野の事業者等との連携により、船舶産業における今後の研究開発を担う人材育成を支援する教育システムを構築する。					
実施状況	造船事業者又は船用工業事業者と異分野との連携により、新たな技術を生み出すとともに、今後の研究開発を担う人材の育成を併せて支援する教育システムの構築に資するモデル事業を実施し、人材育成に資するカリキュラム、テキスト等を作成。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	11	12	-	-
	執行額	-	9	12		
	執行率	-	81.8%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	外部委託について、その内容、進め方について必要な指示を行うとともに報告書を提出させ、予算が目的に沿って効果的に使用されていることを確認している。				
	見直しの余地	本事業については、平成21年度に人材育成に資するカリキュラム、テキスト等を作成したことから、当該教育システムの基礎が整備されたものと考え終了することとし、今後は船舶産業における当該教育システムの確立を支援することとする。 なお、今後も同種の外部委託について、支出先の用途把握を通じ契約内容の点検・見直しを行う等、効率的かつ効果的な予算執行に努める。				
予算監視の効率化	【事業廃止】 事業目的の達成状況から、改めて予算措置を講ずる必要性はないと認められるため廃止事業とする。					
補記	【予算科目】 071 海事産業市場整備等推進費 95 海事産業の市場環境整備・活性化等の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) 95016 - 2129 - 06 諸謝金 1百万円 1百万円 95016 - 2122 - 08 職員旅費 0百万円 0百万円 95016 - 2122 - 08 委員等旅費 0百万円 0百万円 95016 - 2123 - 09 海事産業市場整備等推進調査費 0百万円 0百万円 95016 - 2125 - 14 海事産業人材育成支援事業委託費 11百万円 11百万円					

国土交通省
12百万円

旅費、謝金、委員等旅費
1百万円

多様な分野が関係する新たな環境技術等を創出・駆使することができる技術者等を育成するための研究・教育システムを産学連携により構築



【企画競争】

A. 三井造船(株)
11百万円

造船事業者又は船用工業事業者と異分野との連携により、新たな技術を生み出すとともに、今後の研究開発を担う人材の育成を併せて支援する教育システムの構築に資するモデル事業を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.三井造船(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業実施人件費	11			
計		11	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)